

グループホーム「櫻」第4回運営推進会議議事録

日時 平成19年6月25日(月) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 5号室
出席者 運営推進会議委員関係
返子市福祉部介護保険課 課長 和田 一 幸
代理 村松 係 長
返子市民生委員児童委員協議会 会長 内野 友基枝
葉桜自治会 副会長・福祉部長 杉浦 強 司
ご家族代表 小野寺 貞 子
(委員4名中代理含む4名出席)
医療法人社団柏信会関係
理事長兼青木病院院長 角野 禎 子
グループホーム「櫻」 管理者 菅谷 弘 子
事務長 遠藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

管理者は定刻になったので開会を宣し、角野理事長に挨拶を要請した。

理事長は各委員に対し本日の出席を謝し、本委員会の意見等は今後の運営に反映していく旨を表明し協力を要請して挨拶とした。

管理者は理事長挨拶終了後、会議次第に基づき事務長に報告事項等の説明をさせた。

事務長は会議に入る前に、葉桜自治会より役員改選に伴い本委員会委員の交代があったことを報告。後任の葉桜自治会副会長・福祉部長である杉浦強司氏をご紹介するとともに、各委員等をそれぞれ紹介した後報告に入った。

事務長は配布資料の確認を求めるとともに、2ヶ月に1回の運営推進会議においては、特別な事案がないかぎり本日の資料程度の報告となり懇談の時間を多くして当分の間実施していく旨を補足し、各委員の了承を得た。

2. 議題

(1) 運営状況(概要)報告

ア 入居者の現況について

5月末をもって1名が退所、現在の利用者17名の現況について別紙資料により男女別、年齢別、介護度別、地域別等の概要を報告。

イ 主な行事の実施状況について

別紙資料により概要を報告するほか以下口頭で補足説明をした。

各ユニットは「今月の予定」に基づき、季節行事については利用者の健康状態、使用車両の状況等を勘案し実施、恒常行事にあっても状況により変更もあるが、概ね予定通り実施している。

実施時間は状況により季節行事は3時間前後、恒常行事は30分～1時間程度である。

4月及び5月の活動状況の主なものを別紙資料「さくら」の写真により説明、特に5月の「メモリアルコンサート」は14名のご家族の参加を得て盛大に実施できたことを報告。

今後も季節的行事等にご家族の参加を念頭に計画を作成し、多数の参加を呼びかけていくよう努めたい。

(2) 質疑応答

Q 行事予定表どおりの実施状況について

A 実施については利用者の健康状態や参加職員数及び借用車両の状況等を勘案し、安全を重視して実施。恒常行事は日々の目安として計画、必ず実施すべきものではなく、利用者の状況により変更する等臨機応変に実施している。

Q 利用者の要介護度が2～3に偏る理由について

A 利用者は要支援2から要介護度5までが入居できるとなっている。

しかし、利用料金等の関係もあり、要支援者は何とか家庭で介しており、介護度4～5の方は余病の関係等もあり本施設利用基準に馴染まないところが多くなる。

入居相談時には本施設と他の施設（老健、特養、介護付有料老ホーム等の違いの説明を受け、申し込みを辞退されている方も多い。

また、当施設としても申込書等に基づき青木病院において入居者の診断、面接等を実施し、その結果を持って入居手続きとなる。

以上の理由等により入居者の介護度が必然的に2～3に偏ると思われる。

3 その他

管理者は本日の報告に対する質疑があまり無いので、以降残り時間を懇談会とした。

発言の要旨は次のとおりであった。

ア 葉桜自治会の夏祭り参加について

7月21日(土)~22日(日)に実施される。参加については歓迎するが会場が坂道や不整地の広場であり充分注意の上参加されたい。後日、お祭りのパンフレット等を「櫻」にと届ける。

イ 参議院議員選挙への権利の行使について

利用者の権利擁護関し「櫻」としてはマニュアルを作成し、出来る限りの協力をする。

代理人、成人後見人にその旨を文書により通知する。

ウ 認知症介護者9名の根拠について

理事長より精神科・神経科の学術・臨床的な面から介護できる人数が限定され9~10の数字が挙げられている等、根拠についての説明があった

エ 運営推進会議の今後の開催日について

2ヶ月に1回の開催として、偶数月の月末に予定し日時の固定化はしない。

4 . 閉会の辞

管理者は本日の会議出席を謝し運営推進会議終了を告げ、次回(6月)開催への協力をお願いし閉会とした。